

会 議 要 旨

(1 / 6)

会議の名称	第1回川越市観光振興計画審議会
開催日時	令和3年11月25日(木) 午前10時 開会 ・ 正午 閉会
開催場所	川越市役所7階 7B会議室
議長(委員長・会長)氏名	会 長 溝尾良隆
出席者(委員)氏名(人数)	副会長 安島博幸 委 員 井上敏秀、加藤榮壽、栗原裕子、松山潤、山田禎久、大野孝、恩田美也子 8人
欠席者(委員)氏名(人数)	谷島賢 1人
事務局職員氏名	栗生田部長、田中課長、阿部副課長、猪鼻(哲)副主幹、徳田主査、小淵主事
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 会長・副会長の選出 4 諮問書の提出 5 会議及び会議録の公開 6 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 現計画の概要及び中間見直しの背景について (2) 中間見直しの概要について 7 その他 8 閉会
配布資料	次第、審議会名簿 資料1 中間見直しの背景 資料2 中間見直しの概要 資料3 スケジュール 参考 審議会条例

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	<p>議題</p> <p>(1) 現計画の概要及び中間見直しの背景について</p>
事務局	< 現計画書、資料 1 を基に説明 >
委員	現計画書 5 4 ページの数値目標について、どのような中間見直しを図る予定か。
事務局	資料 2 に記載しており、詳細については議題 2 で説明させて頂く。
	(2) 中間見直しの概要について
事務局	< 資料 2 を基に説明 >
委員	<p>見直し施策 「アニメを活用した観光施策」について、アニメに限らず、「映像コンテンツの推進」としたらどうか。</p> <p>去年自分の店舗で撮影が行われたドラマについて、現在でも聖地巡りの観光客が来ている。客層も消費意欲の高い方が多く、観光消費額の増加にもつながる。</p> <p>また、現在は動画配信サービスによって海外在住者も日本の映画やドラマを鑑賞できるため、インバウンドの観光客も期待できる。海外に向けて映像コンテンツを売っていくことを考えると、トラベルマートなどで旅行会社だけでなく、映像会社にも川越をアピールしたらどうか。</p> <p>次に、見直し施策 「グリーンツーリズムの推進」について、ドローンの練習場所が埼玉県内に現在 2 , 3 カ所しかないため、伊佐沼など広い場所にドローンの練習場を作るとよいと考えている。</p>
会長	<p>川越がロケ地として多く選ばれている理由が、東京から近いため、費用が抑えられるといったメリットがある。</p> <p>現在、フィルムコミッション事業を行っている部署はどこか。また、メディアからの問い合わせは多いか。</p>
事務局	観光課と広報室が合同で行っている。たびたびロケ地の相談は

委員	<p>入っており、対応可能なものは案内している。</p> <p>資料2の11ページ、表3の指標6「観光地立ち寄り箇所」について、立ち寄り箇所が多い方がよい理由はあるのか。目標としてふさわしいか疑問である。例えば、文化や歴史に興味を持ち、一つの場所に長く滞在することも観光にとっては大事ではないか。また、現計画書66ページの立ち寄り観光地は限られたものしか掲載されておらず、今後観光の幅が広がっていくことを考えると、人が興味を持つ箇所も変化するため、紙のアンケートではなく、ICTの技術を活かして、人流データを収集することも重要である。</p>
会長	<p>観光地立ち寄り箇所は、観光客を分散させたいために設定していると思われるが、いかがか。</p>
事務局	<p>現計画書の14ページのとおり、川越市の観光事業における課題の中に、観光客の滞在時間の延長と観光周遊エリアの拡大とあり、これらの課題の解決方法の一つとして、観光地立ち寄り箇所を増やすこととしている。</p>
委員	<p>資料2の11ページ、表3の指標8「市民の観光に対する重要度」について、評価が「×」となっているが、市民にとって「観光の振興に対する重要度」の聞き方では、自分に関係ないと感じて評価が低くなるのは当然と感じる。町並みの保存や美化、文化の継承や発展といった観点から調査を行えば、重要度が上がるのではないか。</p>
委員	<p>アニメやドラマのロケ地について、ロケ地に選ばれた場所や見栄えの良い建物等のデータベースを作る必要がある。また、そのデータをマップ上に展開し、まだロケ地として推進できていない場所を調査・分析することで、市内の隅々まで魅力ある撮影場所を拡げていくことができる。さらに、ロケ地を巡る散歩コースやスタンプラリー等を実施し、どのようにロケ地を周ればよいか、ナビゲーションする必要がある。</p> <p>次に、滞在時間の延伸については、宿泊を促すべきである。例えば、ドローンの試験である座学と実技を川越市内で実施すれば、2日必要になるため、宿泊を促せる。</p> <p>また、秩父のように、バイクに優しい町などを謳い、駐車場の整備を図るとよい。SNSでも拡散されると考える。</p>

	<p>若い世代に訪れて頂くためには、例えば、市内の高校生に観光の企画を提案してもらい、商店街で審査をし、良いアイデアは各店舗で取り入れてもらうのはどうか。若者による調査は、データベースとなり、SDGs の推進にもなり、次世代の観光につながる。最後に、蔵造りの町並みは歩行者天国にならないのか。ゴミ問題は悪化するかもしれないが、人が来なくてゴミが出ないより、人が来てくれてゴミが出て、それをどう解決するか考えた方がよい。</p>
委員	<p>観光客からよく聞く話として、特に一番街周辺の道路やレストランが混雑して楽しめなかったという声がある。また、インターネットで調べると、川越はバスで周遊できるとよく書かれているが、実際はバスの本数が少なかったり、複雑であったり、観光客のニーズに合わない時間に走っていたりといった不満も聞く。</p> <p>町の混雑を解消する方法として、川越でもパークアンドライドをあぐれっしゅ川越横の観光用共同駐車場で実施しているが、海外では、5 , 6 階建ての大型駐車場が郊外にあり、そこから頻繁にダウンタウンに向けてバスが出ている事例がある。川越でも、バスがもっと頻繁に通っていれば、安心して郊外に停められると考える。</p>
委員	<p>川越に海外のように大きなパークアンドライドは必要なのか。郊外から中心部までの距離が海外ほど遠くなく、バスを走らせるよりは歩いてもらえるような町並みとしたらどうか。郊外のさまざまな場所に駐車場を整備し、今日はここに停めてこのコースを楽しんで、と郊外に車を駐車すること自体を遊びに繋げる工夫をするとよい。</p>
会長	<p>皆歩いてくればよいと考えるが、現在はスマートフォンで駐車場を探し、目的地に近い駐車場に停めたいと思う方が多い。</p> <p>交通問題については、観光や都市計画などの担当課で積極的に関わるべきテーマである。</p> <p>また、宿泊客数の統計を取った方がよいのではないか。川越は宿泊する場所ではないといったイメージを解消する必要がある。かつては宿泊に関するデータを、料飲税統計として県に提出していたが、現在はどうか。</p>
委員	<p>宿泊者数について、DMO 川越で延べ宿泊者数調査を今年の1月から開始し、10 程度の施設に調査している。本日は詳細データ</p>

	<p>を持参していないが、コロナ禍においても、ビジネス目的のみでなく、観光目的での宿泊も一定数あったと記憶している。</p> <p>また、資料2の15ページ、見直し施策 について、最近若い人たちが、人や車がない夜の蔵造りの町並みを背景に、自分の車やバイクの写真を撮るといったことが見られる。そこから観光につながるかは分からないが、何かに繋げていければと考えている。</p>
委員	<p>一番街では苦情が多い。スーパーカーに座って写真を撮影したり、深夜に狭い路地に入ってきたり等である。一時期はローラースケート、スケートボードに乗っている様子を YouTube にアップロードし、さらにそれを見た人が訪れていた。</p>
委員	<p>川越も観光税を考えてよいのではないか。金沢や鳥羽、阿寒湖などで導入されており、宿泊税か入湯税への上乗せで徴収している。川越の場合、駐車場に課税するののも一つの案である。自動車のコントロールにも繋がるため、今回の施策の見直しにはなかったが、今後観光税の可能性について検討を始めた方がよい。</p> <p>また、14ページの見直し施策 、川越産農産物のブランド化について、イベントを通じて PR やロゴマークの活用と書かれているが、ブランドとは、他と比べて圧倒的に質が高い農産物を作ることにある。他者には真似できないことや、一定の基準をクリアしたものでないと「川越ブランド」を与えないなど、圧倒的な質を保証してから PR すべきであるため、中身についてもう少し検討すべきである。</p>
委員	<p>見直し施策 について、川越は紅赤が有名とあるが、実際に使われているのが栃木産のサツマイモという事例もある。地元産農産物を掘り起こすため、評価が高い里芋をもっとアピールし、レシピ等も紹介するとよいと考える。</p> <p>また、「蔵 in ガルテン」において、バーベキュー施設ができるが、提供する食材は川越産を優先してほしい。併せて、川越は芋掘り観光は有名だが、その他の観光農園は少ないため、バーベキューの食材を自身で農業体験をして収穫したらどうか。</p>
委員	<p>バーベキューができる観光農園はあるか。</p>
委員	<p>「蔵 in ガルテン」計画地周辺にはない。</p>

委員	<p>コロナになる前は、観光客が道端で写真を撮るなど、交通事故が起こりそうで本当に危険だった。対策をとらなければという時にコロナになったため、一切観光客も来なくなった。</p> <p>おかみさん会で鎌倉へ視察に行った際、年末年始は車が流入できないように対応しているとのことであった。川越でも畑や田んぼ等の空き地に(臨時)駐車場を整備し、そこから市内に誘導してはどうか。成田山新勝寺もそのようにしている。</p>
会長	<p>鎌倉でどのように行っているのか確認し、検討してもらえればと思う。</p> <p style="text-align: right;">(終了)</p>